

(様式2(1))

事業所名 グループホームみどり

作成日: 平成 25年 12月 24日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
	6	施設・法人全体で実施される研修への参加した職員が事業所内で復講を行い、全職員で研修内容の浸透を図り、拘束をしないケアの周知徹底を図る取り組みが望まれる。また、地域密着型サービスとして必要な研修を計画的に実施していくことが望ましい。	研修を計画的に実施しサービスの質の向上を行う。	年度計画の中に内部研修を取り入れ定期的な研修を行う。研修を行う際には職員が交代で講師を行い個々のスキルアップを図る。外部研修や施設・法人全体で実施される研修に参加した職員は職員会議時に復講を行いサービス向上を図る。 12ヶ月
	7	事業所内でも計画的な研修の実施を行い、身体的だけでなく精神的な虐待についても学び、理解を深める取り組みを期待する。	「虐待」についての理解を深める。	虐待について内部研修を行い身体だけでなく精神的な虐待についても共通認識を持つ。外部の研修にも積極的に参加し知識を深める 12ヶ月
	8	今後も権利擁護について継続的に学ぶ機会を持つと共に施設・法人全体で実施される研修の受講内容を事業所内で復講し周知する取り組みが望まれる。	「権利擁護」についての理解を深める。	内部研修で権利擁護についての研修を行うと共に、外部や施設・法人内研修に参加し、職員会議で復講することで理解を深めていく。 12ヶ月
	9	個人情報の使用に関する同意書について写真の使用や掲載など内容を確認、見直しを行うことが望ましい。	個人情報の使用に関する項目の見直しを行い、写真使用についての項目を作る。	写真の使用場面を検討し個人情報使用に関する同意書の中に取り入れ同意を求めていく。 3ヶ月
	26	計画に沿って利用者一人ひとりを支援した結果や支援した結果の変化などをケース記録に残していくことが望まれる。	計画に沿って支援した結果や変化を利用者一人一人記録する。	全体的なまとめではなく、個別の内容に沿った記録を取りケース記録にその結果や変化を記入する。 12ヶ月
	33	重度化・看取りに関しての指針をマニュアルとして明文化し、マニュアルに基づいた研修を実施し、全職員で統一した方針で支援できるような取り組み、体制を整備していくことが望まれる。	「重度化・看取り」についてのマニュアルづくりに取り組む。	外部の研修会に参加し知識を深め、内部で勉強会を行い知識を共有しマニュアルを作っていく。 6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。